



2018年11月9日
株式会社 阿波銀行

2019年3月期 第2四半期（中間期）決算について

阿波銀行（頭取 長岡奨）は本日、2019年3月期 第2四半期（2018年4月1日～2018年9月30日）の単体および連結決算を発表いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2019年3月期 第2四半期（中間期）の主要計数（単体）

主要計数	2019年3月期 第2四半期（中間期）	前年同期比
総預かり資産残高 （総預金および預かり資産）	3兆2,929億円	2,025億円 増加
総預金平均残高（譲渡性預金を含む）	2兆8,445億円	617億円 増加
貸出金平均残高	1兆8,202億円	633億円 増加
コア業務純益	74億61百万円	4億53百万円 減益
経常利益	76億90百万円	27億89百万円 減益
中間純利益	54億46百万円	9億33百万円 減益
金融再生法開示債権比率	2.37%	0.01ポイント低下
自己資本比率（連結）	11.47%	0.37ポイント低下

2. 決算ハイライト

- ・総預かり資産残高は、個人預金および法人預金が順調に推移し、また預かり資産商品ラインアップの拡充、販売体制の強化に努めた結果、前年同期比2,025億円増加しました。貸出金残高（平均残高）についても徳島県内をはじめ関東地区、関西地区、中四国地区のいずれにおいても順調に推移し、同633億円増加しました。
- ・コア業務純益は、役務取引等利益が増益となったものの、貸出金利息の減収により資金利益が減益となったことから、同4億円減益の74億円となりました。
- ・経常利益および中間純利益は、実質与信費用が予防的引当の実施により増加したことから、同27億円減益の76億円、同9億円減益の54億円となりました。
- ・なお、自己資本比率（連結）は、当行の健全性の高い保有資産や内部留保の充実が反映され、11.47%と引続き高い水準となりました。

3. 2019年3月期の業績見通し（連結）

- ・当行では2018年10月30日に公表の通り、連結子会社の100%子会社化に向けた資本構成の見直しを実施しており、2019年3月期通期の業績（連結）について、業績予想を以下のとおり修正いたします。

	今回予想	前回予想	比較
経常収益	696億円	668億円	+28億円
経常利益	184億円	160億円	+24億円
親会社株主に帰属する当期純利益	111億円	103億円	+8億円

詳しくは[決算短信](#)をご覧ください。

以 上